

PERFECT MASTER

歯科国試パーフェクトマスター

全部床義歯 補綴学

西山雄一郎 著



購入者特典



電子版アプリ (iOS, Android 版)
利用権つき

歯科医師国家試験出題基準対応

医歯薬出版株式会社

Check Point

- ・加齢・老化による口腔・顎顔面の変化を理解する。

I. 解剖学的, 組織学的変化 よくでる

A 骨

- ・多孔化
- ・萎縮
- ・骨密度の低下（骨粗鬆症）
- ・骨塩量の低下（易骨折性）
- ・骨髓の線維化
- ・造血能の低下（脂肪髄）

B 粘膜

- ・角化の亢進による弾性（被圧縮性）の低下
- ・上皮下組織細胞の減少による菲薄化

C 舌

- ・緊張度の低下
- ・味蕾の減少 → 味覚の鈍化
- ・脂肪組織の増加

C 下顎最後退位 (→ p.13 参照)

- ・下顎後退位の中で最も後方に位置する下顎位
- ・終末蝶番運動の開始点
- ・体位，頭位に影響されない再現性のある下顎位
- ・ゴシックアーチの頂点に一致する。

終末蝶番運動：左右の下顎頭が最後退位にあるときの蝶番運動（滑走を伴わない回転運動）。

D 偏心咬合位

咬頭嵌合位から上下顎の歯を接触させた状態で，前方，側方，後方に滑走させたときのすべての下顎位

E 嚙下位 嚙下時の下顎位

正常有歯顎者では，嚙下時に**咬頭嵌合位付近**で咬合接触する。



CHECK! 嚙下位の臨床的意義

- ・嚙下時に下顎は舌骨上筋群によって後方誘導されるため，ほぼ一定の水平的な位置関係が記録される。
- ・無歯顎者の垂直的・水平的顎間関係の設定に利用される (→ p.74, 75 参照)。

F 発音位 発音時の下顎位

1) S 発音位

- ・[s] 音を発音するときの下顎位
- ・最小発音間隙 (1~2 mm)



CHECK! S 発音位の臨床的意義

- ・咬合高径の決定に利用 (→ p.74 参照)
- ・前歯部人工歯の排列位置の決定に利用 (→ p.92 参照)
- ・前歯部人工歯排列後の口蓋部歯肉形態の適正性の判定に利用 (→ p.103 参照)



口腔内の検査

**CHECK!** 口腔関連 QOL

1) Oral Health Impact Profile (OHIP)

①機能的な問題, ②痛み, ③不快感, ④身体的困りごと, ⑤心理的困りごと, ⑥社会的困りごと, ⑦ハンディキャップ, の7領域, 49項目からなる口腔関連 QOL の評価指標

2) General Oral Health Index (GOHAI)

過去3か月間における口腔に起因する問題の発生頻度を問うもの

3) Oral Impacts on Daily Performance (OIDP)

過去6か月間において口腔に関する困りごとが, どれほど日常生活に影響を与えたかを問うもの

**CHECK!** 医療面接とインフォームド・コンセント

1) 医療面接：患者との信頼関係（ラポール）を構築

- ・言語的コミュニケーション
- ・非言語的コミュニケーション
- ・基本的態度：①受容, ②傾聴, ③共感的態度（解釈モデル）

2) インフォームド・コンセント

- ・病状と治療の必要性および予後について, 患者にわかりやすい言葉と表現で十分に説明し, 患者が理解納得したうえで治療法を選択して同意すること。
- ・「おまかせ医療」ではなく「患者参加型医療」や「自己決定医療」が尊重されなければならない。

II. 仮想咬合平面の設定 よくてる

仮想咬合平面とは、最終義歯の咬合平面の基準となる、咬合堤上に表現される平面である。

A 上顎咬合床の修正

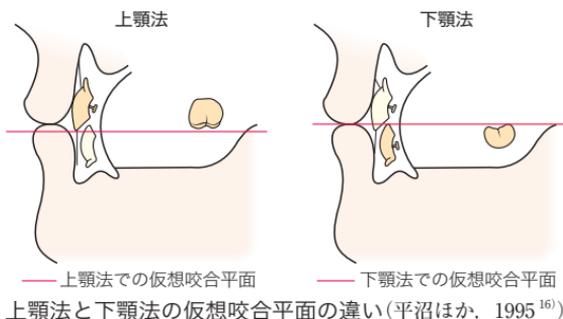
- ①上顎咬合床の適合状態を確認
- ②リップサポートの決定
- ③上顎咬合堤前歯部の高さを修正（上顎法または下顎法）



CHECK! 上顎法と下顎法

いずれを選択するかによって
仮想咬合平面の設定が変わる！

- ・ **上顎法**：人工歯を上顎から排列する。上唇下縁の高さから 1 mm 下方に仮想咬合平面を設定する。後方臼歯になるにしたがって、義歯の咬合平面は仮想咬合平面から離れていく。
- ・ **下顎法**：人工歯を下顎から排列する。上唇下縁と同じ高さに仮想咬合平面を設定する。義歯の咬合平面と仮想咬合平面が一致する。



B 仮想咬合平面の設定

1) 上顎咬合堤の正面観の修正

咬合平面設定板を用いて、瞳孔線と平行になるよう咬合平面を修正する。

人工歯の選択・排列と歯肉形成

Check Point

- ・人工歯の選択基準を理解する.
- ・人工歯の排列法を理解する.
- ・歯肉形成を理解する.

I. 前歯部人工歯の選択と排列  よくできる

A 前歯部人工歯の選択

1) 形態 (モールドガイド)

- ・Williams の3基本形: 方型 (square), 尖型 (tapering), 卵円型 (ovoid)
- ・顔型を逆にした形態が上顎中切歯の歯冠形態に相似 (顔面形態を基にしている)
- ・各メーカーのモールドガイドは上記3型に混合型 (combination) が追加されている.

